

## 保育所版 自己評価シート③ 【内容評価基準】

### 【自己評価の実施にあたって】

- 第三者評価基準「評価の着眼点」や「評価基準の考え方と評価の留意点」を参考に自己評価をしてください。
- 評価結果は、「自己評価結果欄」のドロップダウンから選択してください(「a・b・c」)。
- また、その判断した理由・特記事項等を「判断した理由・特記事項等欄」にご記入ください。
- 「評価の着眼点」についても「☑欄」のドロップダウンから選択してください(「□・☑」)。

### A-1 保育内容

A-1-(1) 保育課程の編成		自己評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
1	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a	☑	ア	保育課程は、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとりあて編成している。
判断した理由・特記事項等			☑	イ	保育課程は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づいて編成している。
保育・教育課程は保育理念、基本方針、目標に基づいて編成されている。子どもの発達過程や保育時間、地域の実態などを考慮し、保育に関わる職員の参画のもとで編成されている。年度末に評価をし、次年度に向けた見直しを行っている。			☑	ウ	保育課程は、子どもの発達過程、子どもと家庭の状況や保育時間、地域の実態などを考慮して編成している。
			☑	エ	保育課程は、保育に関わる職員が参画して編成している。
			☑	オ	保育課程は、定期的に評価を行い、次の編成に生かしている。
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的		自己評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
2	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	☑	ア	室内の温度、湿度、換気、採光、音などの環境は、常に適切な状態に保持している。
判断した理由・特記事項等			☑	イ	保育所内外の設備・用具や寝具の衛生管理に努めている。
保育室の扉は子どもが手を挟んでも痛くないような作りになっている。保育室には絨毯を敷き、子どもが安らげる空間としたり、未満児室ではパーテーションを利用したりなど、活動と生活の場の区切りとすることで、落ち着いて生活できるように工夫している。子どもが自分の好きな遊びを選択できるように玩具の棚を設けるなど、自由な遊びを保障している。午睡時にはカーテンをしたり、静かな音楽をかけたりするなど、眠りやすい環境を整えている。手洗いはすべて自動水栓となっており、衛生面の配慮がされている。トイレは明るく、子どもの年齢に合わせた大きさの洋式トイレとなっている。			☑	ウ	家具や遊具の素材・配置等の工夫をしている。
			☑	エ	一人ひとりの子どもが、くつろいだり、落ち着ける場所がある。
			☑	オ	食事や睡眠のための心地よい生活空間が確保されている。
			☑	カ	手洗い場・トイレは、明るく清潔で、子どもが利用しやすい設備を整え、安全への工夫がされている。
3	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	☑	ア	子どもの発達と発達過程、家庭環境等から生じる一人ひとりの子どもの個人差を十分に把握し、尊重している。
判断した理由・特記事項等			☑	イ	子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように配慮し、対応している。
一人ひとりの個人差など発達を捉えたうえで、人権に十分に配慮した関わりを行っている。職員心得や人権に配慮したマニュアルにて子どもへの言葉かけ等を職員には周知している。			☑	ウ	自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしている。
			☑	エ	子どもの欲求を受けとめ、子どもの気持ちにそって適切に対応している。
			☑	オ	子どもに分かりやすい言葉づかいで、おだやかに話している。
			☑	カ	せかす言葉や制止させる言葉を不必要に用いないようにしている。
4	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	☑	ア	一人ひとりの子どもの発達に合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけられるよう配慮している。
判断した理由・特記事項等			☑	イ	基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っている。
基本的な生活習慣を身につけるにあたっては、食事、着脱マニュアル等で年齢による目安や方法を職員に周知しているが、発達や個人差等には十分な配慮のもとで、無理なく根気よく関わるなかで身につけていくようにしている。午睡のない年長児においては、布団を敷かないまでも、午後に短時間の休憩タイムを設けるなど活動と休息のバランスを図っている。			☑	ウ	基本的な生活習慣の習得にあたっては、強制することなく、一人ひとりの子どもの主体性を尊重している。
			☑	エ	一人ひとりの子どもの状態に応じて、活動と休息のバランスが保たれるように工夫している。
			☑	オ	基本的な生活習慣を身につけることの大切さについて、子どもが理解できるように働きかけている。

**保育所版 自己評価シート③**  
**【内容評価基準】**

5	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもが自主的・自発的に生活と遊びができる環境を整備している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが自発性を発揮できるよう援助している。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の登園時など、子どもの導線に配慮した生活準備の配置をしたり、準備がスムーズにできるような視覚化した表を掲示したりすることで、自主的に行えるようにしている。</li> <li>・自由遊びでは、遊びを選択して行えるようにしている。</li> <li>・天気の良い日には、以上児は朝の自由遊びから園庭に出ている。</li> <li>・朝や夕方の合同保育や日中の保育においても、他クラスとの交流が図られている。月一回の誕生会の日には、以上児は遊戯室にて会食をしたり、月曜日は縦割りクラスに分かれて食事などもしている。</li> <li>・日々の当番活動や役割分担といったものや、年長児は園外に出る機会も多く、公共の場や乗り物等における約束など、社会的ルールや決まりを実際の体験において身につけていく機会がある。</li> <li>・園における泥んこやプールあそびなどから、保護者ボランティアの協力のもとでの川遊び、そり遊びといった自然体験なども行っている。</li> <li>・年長児合宿では、近くのスーパーや銭湯に行ったり、内水面総合センターへはローカル鉄道、卒園旅行では京都鉄道博物館まで バスや特急 新幹線での往復を楽しむなど社会体験の機</li> </ul>			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	遊びの中で、進んで身体を動かすことができるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	戸外で遊ぶ時間や環境を確保している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	生活と遊びを通して、友だちなどと人間関係が育まれるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	子どもたちが友だちと協同して活動できるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	社会的ルールや態度を身につけていくよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	身近な自然とふれあうことができるよう工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ケ	地域の人たちに接する機会、社会体験が得られる機会を設けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	コ	様々な表現活動が自由に体験できるよう工夫している。
6	⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	0歳児が、長時間過ごすことに適した生活と遊び及び環境への工夫がされている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	0歳児が、安心して、保育士等と愛着関係(情緒の安定)が持てるよう配慮している。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳児保育マニュアルがあり、授乳やおむつ、着脱、遊びなど一人ひとりの発達に合わせたゆったりとした関わりを行っている。</li> <li>・各自の連絡帳にて、園と家庭での食事や排便、睡眠の様子等も共有している。</li> <li>・離乳食については、二週間に一度、進歩状況を書面にて確認しながら、個人の発達にあった食事を提供している。</li> </ul>			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの表情を大切に、応答的な関わりをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	0歳児が、興味と関心を持つことができる生活と遊びへの配慮がされている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	0歳児の発達過程に応じて、必要な保育を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	0歳児の生活と遊びに配慮し、家庭との連携を密にしている。
7	⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	一人ひとりの子どもの状況に応じ、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	探索活動が十分に行えるような環境を整備している。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事、着脱マニュアルなどがあり、年齢や子どもの発達、状況に合わせた関わりができるようにしている。</li> <li>・言葉でまだ上手く自己表現できない子ども達の気持ちを受け止め、一人ひとりに丁寧に関わったり、友達の仲立ちをしたりしている。</li> <li>・異年齢児との交流の機会を設け、ふれあい遊びなどを行ったり、地域の中学生、実習生との交流の機会もある。</li> <li>・一人ひとりの子ども達の状況については、一日保育士体験での個人懇談会の折に情報交換する等連携を図っている。</li> </ul>			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもが安心して遊びを中心とした自発的な活動ができるよう、保育士等が関わっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもの自我の育ちを受け止め、保育士等が適切な関わりをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保育士等が、友だちとの関わりの中立ちをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	様々な年齢の子どもや、保育士以外の大人との関わりを図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	一人ひとりの子どもの状況に応じ、家庭と連携した取組や配慮がされている。
8	⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	3歳児の保育に関して、集団の中で安定しながら、遊びを中心とした興味関心のある活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	4歳児の保育に関して、集団の中で自分の力を発揮しながら、友だちとともに楽しみながら遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各年齢の保育に関して、集団の中で養護と教育が一体となった保育が展開できるような環境整備をしたり、保育の内容や方法については指導計画にて記載したりなど、十分に配慮している。</li> <li>・就学先の小学校や地域の児童会などとの連携の共有を図っている。</li> </ul>			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	5歳児の保育に関して、集団の中で一人ひとりの子どもの個性が活かされ、友だちと協力して一つのことをやり遂げるといった遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもの育ちや取り組んできた協同的な活動等について、保護者や地域・就学先の小学校等に伝える工夫や配慮がされている。

**保育所版 自己評価シート③**  
**【内容評価基準】**

9	⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	建物・設備など、障害に応じた環境整備に配慮している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	障害のある子どもの状況に配慮した個別の指導計画を作成し、クラス等の指導計画と関連づけている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建物はバリアフリー化され、トイレにも手すりが設けてある。また、エレベーターを設置している。</li> <li>・ 障害のある子には加配保育士が付き、個別の支援を行っている。専門機関に保育士が出向き支援の方法を実際に学ぶなど連携を密にアドバイスを受けている。</li> <li>・ 保護者とも連携を密にすることで、情報の共有化を図り、園と家庭がともに同じ方法で関われるように配慮している。</li> <li>・ 年3回市のカウンセラー事業を受け、具体的なアドバイスを受けている。希望の保護者とはカウンセラー、主任、担任との面談で、情報の共有化を図るとともに、今後の保育の仕方などのアドバイスを頂く機会も持っている。</li> </ul>			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	計画に基づき、子どもの状況と成長に応じた保育を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子ども同士の関わりに配慮し、共に成長できるようにしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	職員は、障害のある子どもの保育について研修等により必要は知識や情報を得ている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	保育所の保護者に、障害のある子どもの保育に関する適切な情報を伝えるための取組を行っている。
10	⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	1日の生活を見通して、その連続性に配慮し、子ども主体の計画性をもった取組となっている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	家庭的でゆったりと過ごすことができる環境を整えている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>合同・延長保育マニュアルがあり、異年齢児合同での保育を実施している。</li> <li>・ 子どもが好きな遊びを選択できるように複数の遊具を設置し、活動に応じて机を配置したり、絨毯を敷きいつでも横になったりゆったりできる環境にある。</li> <li>・ 延長保育の子どもにはおやつを提供している。</li> <li>・ 担当者の引き継ぎについては、伝達表を用いて伝達漏れがないように配慮している。伝達内容によっては、担任が直接保護者と対応をする場合もある。</li> </ul>			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの状況に応じて、おだやかに過ごせるよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	年齢の異なる子どもと一緒に過ごすことに配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保育時間の長い子どもに配慮した食事・おやつ等の提供を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	子どもの状況について、保育士間の引継ぎを適切に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	担当の保育士と保護者との連携が十分にとれるように配慮している。
11	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	計画の中に小学校との連携や就学に関連する事項が記載され、それに基づいた保育が行われている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが、小学校以降の生活について見通しを持てる機会が設けられている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画の中に小学校との連携について記載する欄がある。就学前健康診断に参加し就学に関する話を聞いたり、クラス懇談会で兄弟に小学生を持つ保護者から学校の事を聞く機会があったりする。・ 小学校の授業参観に職員が参加したり、学校から先生が保育の見学に来たこともある。就学前には各就学先から園児の状況等についての聞き取り調査があり、主任、担任で対応している。年度末には年長児の児童館見学も行っている。・ 保育所児童保育要録は関係した職員が参画のもと作成している。</li> </ul>			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者が、小学校以降の子ども生活について見通しを持てる機会が設けられている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育士等と小学校教員との意見交換、合同研修を行うなど、就学に向けた小学校との連携を図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	施設長の責任のもとに関係する職員が参画し、保育所児童保育要録を作成している。

## 保育所版 自己評価シート③

### 【内容評価基準】

A-1-(3) 健康管理		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)	
12	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの子どもの心身の健康状態を把握している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもの体調悪化・けがなどについては、保護者に伝えるとともに、事後の確認をしている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>健康、管理マニュアルがあり、朝の受け入れ時からの子どもの健康状態を把握する配慮事項等が記載されている。</li> <li>子どもの体調の悪化については、基本的には発熱が38度を超えたら保護者に連絡をする等の周知がされているが、子どもの状況によってはそれ以下であっても連絡を入れたり、個別に熱性けいれん等のある子は、保護者との話し合いのもとで連絡を入れたりしている。個人的にアレルギーやけいれん、肘内障等病歴を持つ園児については職員間で情報の共有を図り、適切な対応ができるように周知している。</li> <li>怪我の対応は、保護者に状況や処置の方法や改善策を伝えるなど誠実に対応している。</li> <li>年度初めに児童調査表を一度保護者に返し、予防接種等追記のある部分を確認してもらうようにしている。</li> <li>SIDSに関する情報を保護者に提供するとともに、園では5</li> </ul>			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの保健に関する計画を作成している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	一人ひとりの子どもの健康状態に関する情報を、関係職員に周知・共有している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	既往症や予防接種の状況など、保護者から子どもの健康に関わる必要な情報が常に得られるように努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	保護者に対し、保育所の子どもの健康に関する方針や取組を伝えている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し、必要な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	保護者に対し、乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する必要な情報提供をしている。
		13	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	健康診断・歯科健診の結果を保健に関する計画等に反映させ、保育が行われている。
<small>・事前に保護者に医師への質問書を配布し、質問があった場合には、医師より返事を記載してもらい家庭へと伝える。保育においても肥満気味の子は体を動かす遊びを提供したり、虫歯の多い子には、丁寧な歯磨きを促したり等保育に反映させている。</small>			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	家庭での生活に生かされるよう保育に有効に反映されるよう、健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝えている。
		14	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	慢性疾患等のある子どもに対して、医師の指示のもと、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>除去食については医師の診断結果をもとに、保護者からの除去依頼書にて対応している。</li> <li>献立は給食担当者、担任、フリー保育士、園長、主任で確認し保護者に配布している。成長期の子どもであるため、定期的に医師の診断を仰ぎながら、解除になったものから献立に取り入れるようにしている。</li> <li>除去食については個別の名前の入ったケースにて各クラスへ配膳されることで、誤食の防止に努めている。</li> </ul>			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食事の提供等において、他の子どもたちとの相違に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員は、アレルギー疾患、慢性疾患等について研修等により必要は知識・情報を得たり、技術を習得している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	他の子どもや保護者にアレルギー疾患、慢性疾患等についての理解を図るための取組を行っている。
A-1-(4) 食事		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)	
15	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	食に関する豊かな経験ができるよう、保育の計画に位置づけ取組を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれる環境・雰囲気づくりの工夫をしている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>誕生会では3歳以上児が遊戯室で、また縦割りクラスに分かれ会食をしたりなどメンバーや雰囲気を変えながら食事を楽しんでいる。年長児の合宿保育では、テーブルクロスを敷いてレストラン風に行っている。</li> <li>子どもの年齢や発達に応じ、量、形、大きさなどに配慮している。同じクラスの子どもでも、1歳児などでまだ普通食に移行できていない場合には離乳食の対応をする等、一人ひとりの状態に応じたきめ細かい配慮を行っている。3歳以上はご飯をクラスで配膳することで、個々の食べられる量やその日の体調等を担任が把握し、調整している。</li> <li>園の畑で収穫体験をした野菜でクッキングをしたり、バケツ稲を育てることで米作りの過程を体験したりなど食べ物や作る人への感謝の気持ちを持つ機会となった。また、調理師が素材や栄養、箸の持ち方などの話をするなど食育への取り組みを行っている。</li> <li>保育の中で子どもが関心をもったことをクッキングに繋げさらに関心をもてる機会にしている。</li> </ul>			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの発達に合わせた食事の援助を適切に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食器の材質や形などに配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	個人差や食欲に応じて、量を加減できるように工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	食べたいもの、食べられるものが少しでも多くなるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	子どもが、食について関心を深めるための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	子どもの食生活や食育に関する取組について、家庭と連携している。
		16	② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもの食べる量や好き嫌いなどを把握している。
<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭には年1回食生活アンケートを実施、状況の把握に努めている。</li> <li>毎日日替わりでの保育士の喫食状況の記録があり、子どもの様子や残量等の記載がある。</li> <li>献立については毎月1回栄養士、調理師、保育士で行い、現場の意見も反映させている。</li> <li>栄養士の栄養計算のもと行事や季節感のある献立となっている。</li> <li>調理師がクラスの子ども達と食事をする機会は、実際の給食を食べる子どもの様子を観察したり、箸の持ち方などの指導をしたりする機会にもなっている。</li> <li>衛生管理マニュアル、食中毒対応マニュアル、清掃マニュアルなどがあり、衛生管理体制が守られている。</li> </ul>			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	残食の調査記録や検食簿をまとめ、献立・調理の工夫に反映している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	季節感のある献立となるよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	地域の食文化や行事食などを取り入れている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	調理員・栄養士等が、食事の様子を見たり、子どもたちの話を聞いたりする機会を設けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	衛生管理の体制を確立し、マニュアルにもとづき衛生管理が適切に行われている。

## 保育所版 自己評価シート③ 【内容評価基準】

### A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭との緊密な連携		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
17	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	連絡帳等により家庭との日常的な情報交換を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育の意図や保育内容について、保護者の理解を得る機会を設けている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全園児個人の連絡帳がある。全体的なことは各クラスのホワイトボードにてドキュメンテーション的に保護者にわかりやすく発信している。ボードの位置を変えたことで親子で会話を楽しみながら、保育を振り返る場面が見られるようになった。保護者とは必要に応じて、直接話し合う機会を設け対応する場合もある。苦情、相談等に関しては記録をとっている。</li> </ul>			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	様々な機会を活用して、保護者と子どもの成長を共有できるよう支援をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	家庭の状況、保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。
		A-2-(2) 保護者等の支援		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>
18	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	日々のコミュニケーションにより、保護者との信頼関係を築くよう取組を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保護者等からの相談に応じる体制がある。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者には明るい笑顔で対応し、コミュニケーションを図るように園長から職員に周知されている。</li> <li>・保護者からの相談等に応じる体制があり、内容によっては担当者だけでなく、主任、場合によっては園長も同席し対応を行っている。</li> <li>・相談の内容については適切に記録している。</li> <li>・年2回(6月、11月)クラス懇談会(以上児)を行い、子育てについて話し合う場を設けている。</li> </ul>			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者の就労等の個々の事情に配慮して、相談に応じられるよう取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育所の特性を生かした保護者への支援を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	相談内容を適切に記録している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	相談を受けた保育士等が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制を整えている。
		19	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	虐待等権利侵害の可能性があると感じた場合は、速やかに保育所内で情報を共有し、対応を協議する体制がある。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段から保護者とコミュニケーションを図り、家庭状況を十分に把握するとともに、子育てに悩みを抱えている保護者にはアドナイス出来るようにするなど、虐待防止に努めている。</li> <li>・園児においては着替えや乾布摩擦などの裸になる際に、けが、あざ等がないかを意識して観察するようにしている。虐待が疑われるケースにおいては、詳しく日時、状況等記録を市の子育て支援室児童相談所等と連携している。</li> <li>・虐待防止マニュアルを整備し、虐待時の対応が文書化されている。</li> <li>・職員が虐待防止研修に参加している。</li> </ul>			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	虐待等権利侵害となる恐れがある場合には、予防的に保護者の精神面、生活面の援助をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	職員に対して、虐待等権利侵害が疑われる子どもの状態や行動などをはじめ、虐待等権利侵害に関する理解を促すための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	児童相談所等の関係機関との連携を図るための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	虐待等権利侵害を発見した場合の対応等についてマニュアルを整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	マニュアルにもとづく職員研修を実施している。

### A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
20	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育士等が、記録や職員間の話し合い等を通じて、主体的に自らの保育実践の振り返り(自己評価)を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	自己評価にあたっては、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの心の育ち、意欲や取り組む過程に配慮している。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・西日本支部のOJT自己評価表で年3回行っている。トレーナーと対象者共に良い刺激を受け合いながら、保育実践の改善や質の向上に努めている。</li> </ul>			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保育士等の自己評価を、定期的に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育士等の自己評価が、互いの学び合いや意識の向上につながっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保育士等の自己評価にもとづき、保育の改善や専門性の向上に取り組んでいる。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	保育士等の自己評価を、保育所全体の保育実践の自己評価につなげている。